



消費生活センターから

2004年度 上半期消費生活相談の概要

4～9月の相談件数推移

月	件数
4	472
5	464
6	714
7	599
8	567
9	452

今年度上半期の消費生活相談件数は昨年度よりさらに急増し、総数は3268件、昨年度同期より836件も増加しました。その大半はいわゆる不当請求・架空請求の相談で、特に6月以降は激増し、ピーク時は1日に1000件以上の相談があったほどです。

【不当請求・架空請求】

相変わらず多い不当請求・架空請求の相談ですが、6～8月に「ハガキで、身に覚えの無い有料サイト利用料金の請求を受けた」という相談が激増しました。これは、この時期、市内と同様のハガキが大量に届いたためと思われる。これらのハガキや、また携帯電話のメール等による請求は、身に

【住宅関連】

「屋根を点検してあげる」、「無料で建物の耐震診断をします」と言って訪問してきた業者と高額な契約を結び、トラブルとなる例が増えています。必要な場合はきっぱりと断りましょう。訪問販売の場合、契約から8日以内はクーリングオフ（無条件解約）ができます。

【会員権の二次被害】

以前、会員権契約をした人へ「会費を滞納しているので解約しなさい」と電話で呼び出し新たな契約をさせる二次被害の相談です。過去の契約とは関係がないのできっぱり断りましょう。

【外国為替証拠金取引】

「銀行預金よりお得」と言われて勧誘され、トラブルになる外国為替証拠金取引の相談が主に高齢者に増えています。元本保証は無

2004年度上半期消費生活相談上位10位(商品、サービス別)

順位	内容	件数	前年度同期
1	電話情報提供サービス(主に不当請求)	774	375
2	オンライン情報サービス(主に不当請求)	618	25
3	フリーローン・サラ金	250	302
4	商品一般(主に不当請求)	186	153
5	賃貸アパート・借家	95	115
6	住宅関連工事	73	85
7	エステサービス	42	22
8	自動車	41	41
9	新聞	40	37
10	健康食品	35	40

みんなで育てる 介護保険

介護保険は5年目を迎えました

介護保険制度は、要介護、要支援状態にある方が各自の選択により日常生活を安心して営むことができるように、保健・医療・福祉にわたる介護サービスを総合的に利用することを目的としています。

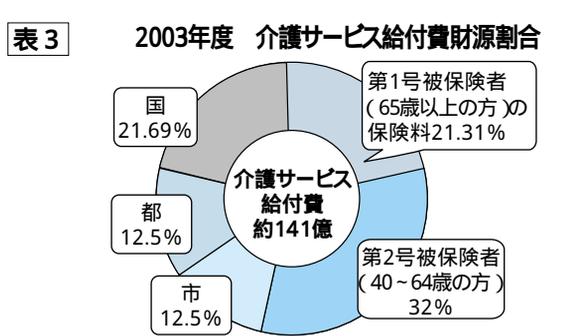
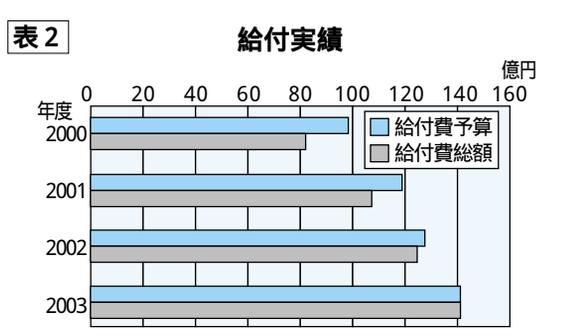
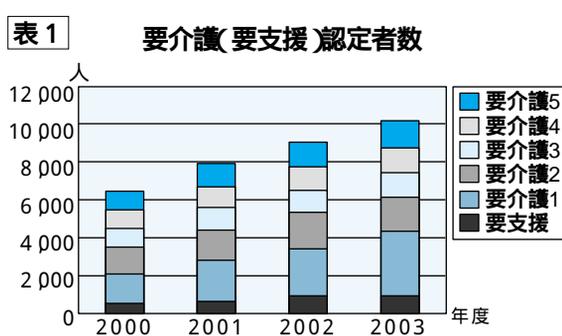
制度を発展させていくために

かつて介護保険制度が始まる以前、高齢者の介護は家族で支えることを前提としていました。そのことが支える人に重い負担を課してきました。介護の状態は重度化し、病院に入院される高齢者の増加、医療費の高騰を招いていきました。

介護保険制度は5年目を迎えます。ますます重要なものとなり、また様々な問題がありますが、高齢者福祉が格段に良くなってきていることも事実です。今後は、単身世帯および夫婦のみの世帯が増加していき、社会全体で支える介護保険制度

現在第2期の2年目に入り、厚生労働省では第3期(2006～2008年度)の見直しに向けて、検討しています。

町田市のいま



道路の愛称を募集します!

町田市管内図

No.	路線番号	路線名	道路延長
	3・4・42	小山橋本線	0.81km
	3・4・19	矢部図師線	3.21km
	3・4・15	木曾金井線	2.40km
	3・4・4	金森小川線	2.80km
	3・4・21	能ヶ谷井の花線	3.00km

市道を市民に親しまれ、生活に密着した、誰からも愛される道路にすることを旨として、市内の幹線道路に愛称を順次付けていきます。

今回は、上記の5路線について、道路の愛称を募集します。皆さんに親しまれるような愛称を考えて下さい。

応募資格 市内在住、在勤の方
 応募期間 11月21日～12月20日(消印有効)
 応募 郵便ハガキに路線番号及び愛称(1路線1案)とその愛称の理由をご記入のうえ、住所・氏名・電話番号を明記し、建設総務課総務係へ(〒194-0021、中町1-4-4、中町第2庁舎、☎724・1120)。

道路愛称名選定要綱により決定します。
 作品の著作権は町田市に帰属します。
 応募作品は返却しません。

東京都教育の日に 町田市民フォーラムで パネルディスカッション

町田市教育委員会では、11月6日(土)の東京都教育の日の行事として、教育講演会を市民フォーラムで開催しました。約180人の参加者で会場は満席となりました。

内容は、大学教授、警視庁職員、町田市青少年委員をパネラーに迎え、小学校長の司会によるパネルディスカッション。「子どもの心を理解する」をテーマに、情報化社会を生きる心構えや、青少年犯罪の背景にある心理、地域の保護者同士の連携や子育て支援の取組などについて、白熱した議論が交わされました。

「子育ての基本は話を聴くこと」「失敗を恐れず失敗を活かすこと」など、保護者・教育者の心構えが話し合わせ、会場からは「大変参考になった」「とてもいい話だった」という声が多く聞かれました。

問 教育委員会指導課 ☎724・2867